



1月15日日本時間の午後1時10分頃南太平洋の海底火山が大噴火しました。当初は日本への影響は少ないと報道されましたが、潮位が変動し数時間後日本にも津波がやってきました。(津波とは違う波の変動を津波と呼ぶのかとの意見もある)鹿児島県奄美群島、トカラ列島、岩手県に津波警報が発令されました。2011年3月11日に起きた東日本大震災後、初めて岩手県に津波警報が出されました。アメリカのカリフォルニア州では131cm、南米チリでは174cmの津波が観測されました。

海底火山から南に60kmほど離れたトンガの首都ヌクアロファでは噴火による灰が降り積もったり、沿岸部で浸水するなどの被害が出ているようですが、国外との通信障害が起こっているため詳しい状況がわかりづらいようです。

1995年1月17日午前5時46分、阪神・淡路大地震が起こりました。今から27年前ですが、よく記憶しています。和歌山でもものすごい揺れで飛び起きたことを思い出します。テレビから映し出される被害は時間が経つごとに増大し、死者数も増え続け、阪神高速が倒れた映像や観光バスがころうじて引っかかっている映像にショックを受け、ただただ画面を食い入るように見ていたことを思い出します。

今回、テレビで緊急速報がテロップが流れたとき、はるか遠い南で起こったことと思いました。しかし、深夜には津波警報が出され、避難を呼びかける報道に変化しました。今回のことで教訓として、災害に備える心構えや覚悟を再認識させられました。

火山について、知りたい人に・・・

★『火山のしくみパーフェクトガイド』高橋正樹(著) 誠文堂新光社

☆『世界の火山百科図鑑』マウロ・ロッシ他(著) 日本火山の会(訳) 柊風舎

## ☆☆図書館からのお知らせ☆☆



### ① 新しい本入りました

『僕のヒーローアカデミア』

堀越耕平(著) 【726.1】

『ブルーロック①～⑩』

金城宗幸(原作) 村優介(漫画)  
【726.1】

『3652-伊坂幸太郎エッセイ集』

伊坂幸太郎(著) 【913.6】

☆図書委員会では、「広報班」「選書班」「整理班」の3つのグループに分かれて活動しています。

『SPY FAMILY スパイファミリー①～⑦』

遠藤達哉(著) 【726.1】

『黒い本』『赤い本』『白い本』

『緑の本』ほか  
緑川聖司(著) 【913.6】

\* 図書委員会選書班が選書しました

### ② プレゼント実施中です

- \* 雑誌( /n/・ニュートン・メンズ/n/  
スクリーン・MOE・料理と栄養)
- \* 付録(ひとり1つ)



“図書委員がおすすめする本” 特集



書名：『この音とまれ！』 著者名：アミュー 出版社：集英社

泣ける度★★★ 為になる度★★

癒やされ度★★★★★ カッコイイ度★★★ 感動度★★★★★

あらすじ：暴力事件を起こした主人公が、部活を一生懸命頑張っ  
て全国大会を目指す物語です。

おすすめコメント：漫画なのにまるで音が聞こえてくるようです。感動  
します。 (1A 栩野せつき)

書名：『私の幸せな結婚』 著者名：顎木あくみ

出版社：KADOKAWA

泣ける度★★★ 為になる度★

恐怖度★★

癒やされ度★★★

おすすめコメント：とてもよい本です。

(1A 出崎香楓)



書名：『十二大戦』 著者名：西尾維新 出版社：集英社

泣ける度★★★ 為になる度★ 恐怖度★★★★★ 驚き度★★★★★

あらすじ：どこかの世界。十二年に一度、十二支の戦士が集い争う「大戦」があった。その名は「十二大戦」今回は十二  
回。頂点に立ったひとは「どうしても叶えたいたったひとつの願い」を成就する事ができる。十二人の戦士はそれぞれの想いを  
胸に戦場に赴く。

おすすめコメント：十二支の名を背負う十二人の戦士達がそれぞれの持つ武器や能力で一人になるまで戦うバトルロワイ  
ヤルです。ストーリーの展開がとても速く、あっさり戦士が殺されてしまったなんてこともあります。予想もできないストーリーで驚  
くこと間違いなしです。 (1D 木村 文哉)

書名：『黒い本』(『赤い本』『白い本』他にもあります。 著者名：緑川聖司(作) 竹岡美穂(絵)

出版社：ポプラ社

泣ける度★ 恐怖度★★★★ (人による) おもしろ度★★★★★

あらすじ：『『黒い本』って知ってる？その本を読むと自分のまわりでおかしなことが起こるんだって・・・』怪談好きのぼくは、学  
校の図書室にある肖像画の前で一冊の「黒い本」を見つけた。どんどん読み進めていくと、本の中にある内容と自分の状況が  
酷似しているのだ。一話二話、三話と読み進めていく・・・まるでこの本の怪談が僕についてくるようだ。

おすすめコメント：『黒い本』や「赤い本」などのように、色のシリーズがさまざまあって、それぞれ違った怖さがあり、一つの話は  
20ページほどなのですが、すごく深くとっても怖いんです。でも感動するところもあるので、ぜひ読んでみてほしいです。

(1B 雪谷理恵子)

書名：『文豪ストレイドッグス』

著者名：朝霧カフカ

出版社：KADOKAWA

泣ける度★★★ 為になる度★★★★★

恐怖度★

癒やされ度★ おもしろ度★★★★★

あらすじ：武装探偵社という異能力がある人  
たちが、悪事件を解決していく。

おすすめコメント：この本は国語の勉強にも  
なるし、とてもハラハラする話です。

(1C 米田 陸人)

書名：『未来のミライ』 著者名：細田守 出版社：KADOKAWA

家族度★★★★★

あらすじ：ごく普通の家庭を舞台に甘えん坊の4歳の男児が未来からタ  
イムスリップしてきた。妹などさまざまな人物と出会い時空を超えた危険を  
経て、家族とともに少しずつ成長していく物語。

おすすめコメント：初めはわがままな小さな子どもだったけれど、少しずつ  
わがままなところが読んでいてとても良いなと感じました。他にも母親や父  
親の昔もあるので読んでいて飽きないし読みやすいので、ぜひおすすめで  
す。 (1D 山口 広大)



